



水と緑 人のいきかう 高島市

# 広報 たかしま Takashima

2007 11.15  
平成19年 No.55

## ●目次

- 2-4 タウントピックス
- 5 防災・消防情報
- 6-7 みんなで子育て、親育ち！  
地域で子育て、親育ち！
- 8-9 介護保険・介護予防
- 10-12 情報お知らせ版
- 13 警察・交通事故発生状況・消費生活相談
- 14-15 文化情報
- 16 輝け！おらが学校



## 火は見てる あなたが離れる その時を

10月18日の木曜日、秋晴れのもと、第18回自衛消防隊消防操法大会が高島市消防本部グラウンドで開催されました。今年、市内の企業や福祉施設などから16事業所、65チームが参加し、消火器操法など4つの競技で、日頃の訓練の成果を競いました。

このところ、高島市内で火災が相次いで発生しています。火災のほとんどは、ちょっとした不注意から起こります。お出かけ前、おやすみ前にはもう一度火の元を確かめましょう。

【10月18日 「第18回自衛消防隊消防操法大会」で】

広報たかしま

第55号

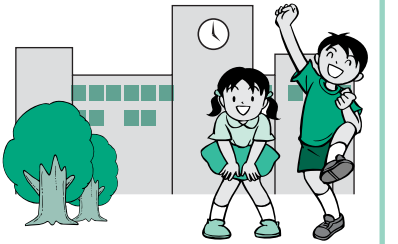
発行／高島市 編集／企画部秘書広報課  
〒160-0802 滋賀県高島市新旭町北畑600-5番地

TEL 077-471-0100

http://www.city.takashima.shiga.jp  
E-mail: info@city.takashima.shiga.jp



## 輝け！おらが学校



▶ 静里なのはな園

今回は教育委員会所管の静里なのはな園（幼児園）を紹介します。静里なのはな園は、幼稚園・保育園の一元化施設として、平成17年に新

旭町藁園に設立されました。園周辺は自然に恵まれ、園庭にはビオトープや築山（なんと頂上が、2階の保育室とつながっています）、農園、飼育小屋（クジャク・アヒル・ウサギがいます）があります。

このような自然いっぱい環境の中で、

### 『かわり・輝き・思いやり』

～あそびの中で学び、

自分の思いや考えを表現して、

生き生きとあそび子を育てる～

を園目標に、直接的、具体的な体験を重視した教育活動を行っています。

### 『あそびは学び』

砂あそびや色水作り、ごっこあそびなど、季節にあった様々なあそびは、子どもたちにとっても重要です。例えば、砂あそびでは、砂・水・泥の感触を存分に味わう事で心が開放されます。「楽しい」と感じる経験は意欲につながります。水を



流したときに「泡が沢山出て、なんでかな？」「流した水がすいこまれていく...どうしてかな？」「水を流したら砂に、穴があいた！」など、砂や水・泥の特性に気がきます。その特性を知るとさらに意欲的になり「こんなふうにして」と、思いを出し合い、仲間と協力したり、役割を分担したりするようになります。また、あそびを繰り返していくと、思いのぶつかり合いからケンカになることもあります。しかし、そのことで、相手の気持ちに気付いたり、我慢したり、心の葛藤をし、相手を思いやることや人とのかわり方を学んでいきます。このように、子どもたちは、あそびを通して経験を積み重ね成長していきます。



### 『五感を使う食育活動』

子どもたちの食の体験を広げ、食べる意欲を育み「食べ物の育ちを感じる力」「味がわかる力」「料理する力」「食べ物と体の関係がわかる力」「食べ物を選択する力」を育てることを目標に年間数回、4・5歳児を対象に幼児料理教室を行っています。日本の食文化である「米」や「だし」から始まり、自分たちで栽培・収穫した旬の野菜・季節にあった料理などを栄養士、健康推進員、地域ボランティアの方々にも協力していただき、教えてもらっています。

### 『命あるものをいただきます』

秋の料理教室では、サンマの三枚おろしをしました。その中で「魚さん、かわいそう」と言う声も聞かれましたが「かわいそうだけど魚さんの生きている命をもらって、私たちは生きていくこと」「命をもらっているから感謝して食べること」を栄養士さんから教えてもらいました。

これからも園・家庭・地域が連携し、子どもの体験からの学びを大切にしていきたいと思えます。



## ★今月の男女共同参画啓発標語・川柳⑧

「男女共同参画社会づくり」の取り組みの一環として、昨年10月に募集した標語・川柳の中から、優秀作品を毎月1作品ご紹介しています。

## 『音楽は ソプラノバスの ハーモニー』

萬木 裕子（高島市勝野）

